

AWC-CCB 会議開幕にあたって

労働党中央委員会主席 呉栄元

尊敬する AWC の同志たち

長年を隔てて AWC-CCB 会議が再び台湾に集まりました。台湾の同志を代表して喜びを申しあげ、各位先達を真摯に歓迎し、同時に今回の会議を準備し、長らく困難な条件の下で AWC 運動を進めてきた AWC 幹事会の各メンバーに衷心より敬意を表します。

現在、アジア太平洋の政治経済情勢のまさに深刻な衝撃は、中国の発展の世界への影響、米国のアジアに舞い戻る戦略意図、日本の軍国主義化、地域経済の統合一体化の趨勢などの動態の進展を含み、ついにはアジア太平洋地区を将来の様々な矛盾を伴いつつ、一種の激烈に動揺する状態にさせています。

過去一年、事態の発展から、米国がアジア回帰を高らかに宣告したことを説明する、軍事基地建設の強化、軍事共同演習の拡大、経済同盟(TPP)の推進を通して、中国への牽制を焦点とする戦略配置を繰り広げるなどの強引な行為は、まさにアジア太平洋地区の各種の領土主権の争議などを含む矛盾であり、東中国海、南中国海などの海域で発生する軍事衝突危機の災いをもたらしています。

信賴する AWC 同志たちは、世界が依然として超然と一国支配をしている米国を首領とする資本主義・帝国主義の略奪の世紀にいることを明らかに理解しており、同時にこれにより深刻に AWC 運動のもつ重大な歴史的意義を知っており、代わりのいない自尊心と自負心をもつようになっています。

AWC のつながりを通して、アジア太平洋地区の実際の情況と結合し、私たちの共同の実践の中で、相互に提携し、勉励し、台湾の同志たちは AWC の兄弟団体を国際主義の最も親密な仲間とみなしており、それは私たちが反帝の民族統一運動を実現し、反帝反植民主義の社会改造運動を進める上で、最も頼もしい国際的な助力となります。

このように厳しい新形勢に直面し、アジア太平洋地区の人民反帝運動のさらに緊密な団結は、危機意識を高め、今回 AWC-CCB 会議の召集に特殊な意義をもたせるでしょうし、会議総括中の事実究明が指摘する明確な闘争目標と、有力な行動綱領を希望します。

最後に、会議の成功と貫徹を祈ります！